パークス来航150周年記念イベント

5/5

今年は英国公使パークスが宇和島に来航して150年目となる年です。その節目の年を記念して、パークスが行進した道を歩くウォーキングイベントが行われました。

今回のイベントでは、パークスが上陸した住吉町樺崎砲台跡を出発し、須賀川沿い～穂積橋・高野長英居住跡地～桑折長屋門～上り立ち門～天赦公園までを歩きました。コースの途中では、市職員によるパークスの行進した道順の説明や、名所・史跡の解説が行われ、参加者は足を止め説明を聞いていました。

ゴールの天赦公園では、子どもの日イベントが行われ、ダンボール迷路や甲冑の着付け体験など、来場した多くの子どもたちが楽しみました。

スポーツ振興くじ(ｔｏｔｏ)助成金により整備します

「スポーツ振興くじ（ｔｏｔｏ）」は、身近にスポーツを親しむための環境整備や、新たなスポーツ振興政策などの財源確保のために導入されました。得られた収益は、地方公共団体やスポーツ団体が行う、スポーツの振興のための事業に助成しています。

今年度、市では独立行政法人日本スポーツ振興センター（ＪＳＣ）より「スポーツ振興くじ（ｔｏｔｏ）」助成金の交付を受け、次のスポーツ施設の整備をおこないます。

整備された施設は、今年度開催される「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」の競技別リハーサル大会、来年度開催される本番大会でも使用されます。施設の整備が完了後、広報うわじまでお知らせします。

整備予定施設	整備品
総合体育館	防球フェンス設置・卓球台設置
丸山公園陸上競技場	サッカー得点板設置

「すり身」を使った「じゃこカツ」メニュー商品が販売中です「じゃこ勝つカレー」・「じゃこカツおにぎり」

6月中・下旬まで

全国チェーンのカレー専門店「カレーハウスＣｏＣｏ壱番屋」の「宇和島国道56号店」では、６月下旬までの期間限定で、じゃこ天の材料となる「すり身」を使った「じゃこカツ」をカレーにトッピングした「宇和島じゃこ勝つカレー」を店舗限定メニューとして提供しています。

トッピングする「じゃこカツ」は、市内の水産加工会社から毎朝新鮮な「すり身」の提供を受け、カレーに合わせて塩分量を落として衣を調整した、揚げたてのものを提供しています。

試食した石橋市長は、「大変おいしい。以前は肉の代わりにじゃこ天を入れたこともあり、カレーとの相性は良い。ぜひ、全国展開をお願いしたい。」と感想を述べました。

宇和島商工会議所青年部有志で結成される「地にぎり ＮＩＰＰＯＮ」が普及推進している、地元の食材を活用して作られたおにぎり「地にぎり」が商品化され、四国地区のサークルＫで販売されています。今回商品化されたのは、昨年行われた「伊達な地にぎり合戦 秋の陣」にノミネートされた、田村 龍聖 くん（番城小学校１年生）が考案した「じゃこカツマヨにぎり」にアレンジを加えたものです。

「じゃこカツ（カレー風味ご飯）」として、販売されているおにぎりは、「じゃこカツ」との相性などを考慮して、ご飯をカレー味に変更して販売されています。販売期間は６月中旬までですが、好評の場合、販売期間を延長します。